

発言No. 7

受付No. 3

令和3年11月18日

8時45分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 10 番

氏名 串崎 利行

答弁を求める者

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 農業の振興について

(1) 集落営農組織・農事組合法人について

① 集落営農組織の多くが発足から10年以上たち、構成員の高齢化が進んでいる。農地の保全や米の生産調整などを進める上で集落営農の役割は大きく、活性化へのでこ入れが急務だと感じる。又、米価下落で大変厳しい状況とを感じるが、現状を伺う。

② 今年の米価下落について、家族農業も含め、市の対策を伺う。

③ 全国的に、特に懸念されるのは、組織でカバーする農地面積が減少傾向にある。市の状況を伺う。

④ 農業・農村両方の持続性が高まるよう、組織への多角的な支援について、市の考えを伺う。

(2) 農村地域づくり事業体（農村RMO）について

① 農林水産省は2022年度から、中山間地域で農地の保全や住民の生活支援などを担う「農村地域づくり事業体（農村RMO）」の育成を始める。農村RMO設立の計画・実証する地域の協議会を支援すると聞くと聞くが、市の考えを伺う。

2 ふるさと体験村と指定管理者制度について

- ① 体験村について、市のこれまでの直接投資額及び関連する道路等の投資額、また、県事業を含めて伺う。
- ② 体験村の管理運営はどのような経過で現在に至ったか伺う。
- ③ 施設再開に向け、指定管理者制度による管理委託を行う必要性を、確認のため改めて伺う。
- ④ 指定管理者制度が適用される公の施設とは、どのような施設か改めて伺う。
- ⑤ 指定管理業務は、体験村の設置条例に沿って行われるものと認識している。当然に必要とされている「食堂」や「物販」などの営利行為は明確に規定されていない。これに関して収支不足が想定される場合は、指定管理業務として管理委託料の対象となるのか伺う。
- ⑥ 新たな指定管理者を検討するにあたって公募でなく、地元のまちづくり組織を指名する予定であると聞いているが、その理由を伺う。

発言No. 8

受付No. 6

令和 3 年 11 月 18 日
11 時 25 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 19 番

氏名 田畑 敬二

答弁を求める者 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
(○をつける) 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 10月1日付けの人事異動の考え方について

- ① 8月の災害にかかる現場確認や、地域の策定計画による要望への対応等で大変に苦勞されていると感じるが市全体の現状認識を伺う。

2 8月の台風及び大雨災害について

- ① 周布地区、治和地区、日脚地区、美川地区等の住民へ対して、警戒レベル4が発令された。浜田市立第三中学校が避難場所であったが、コロナ禍の中での受入体制や、職員の配置はどうであったのか伺う。
- ② 3密対応、高齢者への対応はどのように取組んだか伺う。
- ③ 要援護者及び幼児への避難場所での考え方を伺う。
- ④ 今回のレベル4を発令した対象地域の人口を伺う。
- ⑤ 災害が予測される周布川の堤防の嵩上げを検討しなければならないと考えるが、所見を伺う。
- ⑥ 周布川一ノ瀬橋下流は、土石流の堆積や河川内の立木、竹等で水害になる可能性があると思うが、管理者の島根県に要望をしているのか伺う。

発言No. 9

令和 3 年 11 月 19 日
平成 30 年 10 月 27 日
受付No. 14
受付

一般質問発言通告書

議席番号 7 番

氏名 村武 まゆみ

答弁を求める者 (○をつける) 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 子育て支援について

(1) 産前産後ケアについて

- ① 産前産後の親の学びについて、現在実施している子育て支援センター等での親の学び(教室)の状況について伺う。
- ② R4年4月にオープン予定の子育て世代包括支援センターの進捗状況について伺う。
- ③ 産後ケア事業を実施しているが、利用状況について伺う。

(2) 新型コロナウイルス感染症拡大時の対応について

- ① 子どもが小学校等の臨時休業や濃厚接触者で自宅待機になり、子どもの世話をを行うために仕事を休まざるを得ない場合の賃金の支援策について伺う。

2 認知症の理解と支援について

(1) 認知症の理解について

- ① 認知症についての理解を深めるため、サポーター養成講座が実施されているが、市民の認知症についての理解がどのように進んでいるか伺う。

(2) 認知症の方や家族への支援について

- ① 今年度チームオレンジが設立されたが、その後の活動状況について伺う。
- ② 認知症の方のひとり歩き(徘徊)時の体制について伺う。

発言No.

10

受付No. 13

令和3年11月19日

10時19分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 16 番

氏名 芦谷 英夫

答弁を求める者

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1、総合振興計画後期基本計画の推進について

- ① 総合振興計画審議会からの答申による、後期基本計画について、市の案として決定する具体的な手順はどうか。市の最高意思決定機関である「庁議」での議か。地域協議会に諮るのかなど、計画の策定とその推進の考えはどうか。

2、抜本的な協働のまちづくりの推進体制について

- ① 協働のまちづくり推進は、自治区制度後の市政推進の大命題であるが、総合振興計画後期基本計画では、協働のまちづくりを進める足下である。まちづくり推進委員会の組織化、住民の町内会加入率の向上などが掲げているが、目標値が低いがこれを高く掲げ、計画推進を加速すべきではないか。
- ② 協働のまちづくり推進の基盤を整える必要があるが、その母体となるべきまちづくり推進委員会、連合自治会、自主防災組織、地区社会福祉協議会などがバラバラに運営されている。市として、住民の生活、地域の安全安心、健康づくり、地域福祉、地域行事など、地域がまとまって推進する体制づくりのため、これら組織や機能などの整理統合、連携の仕組みづくりの考えはないか。
- ③ 協働のまちづくり推進は、市各部署にまたがるが、行政のたて割りを排した一元化の体制づくり、関係団体や外郭団体も関係するが、これらとの具体的な連携の仕組みづくりなど、態勢の確立を進める考えはないか。

3、歴史文化保存展示施設のこれからについて

- ① 市民の理解を得る、深める具体策について、どのようなことを考えていて、どう進める考えか。その態様、スケジュールなどをお示しいただきたい。
- ② 歴史文化保存展示施設基本計画では、「学校教育との連携による児童生徒を中心とし、地域の博物館として活用する」とされているが、具体的にどのように考え、現在行われている学校教育の内容をどのように発展させていくのか。具体例があるのか。

- ③ 古代国庁、たたら製鉄、中世山城、浜田藩、明治維新、北前船、石見神楽、未成線、浜田連隊、その間の地域での様々な営みなど歴史資源も地域資源もあるが、これらに改めて光を当て掘り起こす、具体的な推進方策はどうか。これを進める体制づくりが必要ではないか。

4、新型コロナウイルスへの対応策について

- ① 新型コロナウイルス感染予防の呼びかけをしたにもかかわらず、飲食店、介護施設などで集団感染が発生したが、その要因をどのようにとらえていて、市民に対して適切な感染予防につながる呼びかけであったのか。市や県の感染予防の呼びかけ方などにどのような課題があり、どう改革していくのか。
- ② 感染が拡大し、集客を伴うあらゆる行事、事業などが軒並み中止され、地域活動や市民活動が停滞したが、市としてこれからのコロナ時代の新たな集まりの行事、事業などを進めるための対策、新たな方策を打ち出す考えはないか。
- ③ 飲み薬が実用化され、ワクチン接種も新たな段階に入り、コロナと共生する時代に入るが、今ある感染予防策の徹底、ワクチン接種済み証明の発行と市中での対応策、あらゆる機会での抗原検査実施の支援、これらの記録とその共有など市における感染予防の徹底、保健所との連携、疫学調査への支援などを進める必要があるが、専門職の拡充など具体的な市の体制づくりが必要ではないか。

発言No.

11

受付No.

11

令和 3 年 11 月 19 日

10 時 7 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 2 番

氏名 村 木 勝 也

答弁を求める者

(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 「協働のまちづくり」における地区まちづくり計画及び地域計画書について

(1) 浜田市協働のまちづくり推進条例及び浜田市地区まちづくり推進委員会認定要綱での定義の確認について

①「協働」「まちづくり」「まちづくり活動団体」「地区まちづくり推進委員会」「町内会等」の定義をお伺いいたします。

②「町内会等」の定義で浜田市における「町内会若しくは自治会」の関係をお伺いいたします。

(2) まちづくり活動団体の現状について

①町内会又は集落と自治会の団体数を地域毎にお伺いいたします。

②地区まちづくり推進委員会の団体数を地域毎にお伺いいたします。

(3) 浜田市地区まちづくり推進委員会認定要綱に定める「地区まちづくり計画」等について

①「地区まちづくり計画」とはどのようなものかお伺いいたします。

②「地区まちづくり計画」の策定状況をお伺いいたします。

③三隅地域で進めてきている地域計画書(第2次浜田市総合振興計画(案)第4節第5三隅地域 2まちづくり組織を核としたひと・まちづくりの推進の主な事業・取組に記載)とはどのようなものなのかお伺いいたします。

④三隅地域での策定状況をお伺いいたします。

⑤他の地域での「地域計画書」の策定状況をお伺いいたします。

(4) 「地区まちづくり計画」又は「地域計画書」の実現の方策について

①協働のまちづくりを進める上で「地区まちづくり計画」又は「地域計画書」は、

どのような位置づけなのかお伺いいたします。

②「地区まちづくり計画」又は「地域計画書」の実現にかかわる「まちづくりセンター」の役割についてお伺いいたします。

(5) 第2次浜田市総合振興計画後期基本計画と「地区まちづくり計画」又は「地域計画書」の関連について

① 第2次浜田市総合振興計画後期基本計画と「地区まちづくり計画」又は「地域計画書」との関係性についてお伺いいたします。

② 現状と目指す姿である「地区まちづくり計画」又は「地域計画書」の差が「課題」であり、目指す姿に向けて「気運の醸成」があつて、「課題」の実態や「解決策」を知るために「学び」があつて、人と人がつながつて「課題解決に取り組む」ことだと思ひます。

そこで、今後、第2次浜田市総合振興計画後期基本計画が策定され、「地区まちづくり計画」又は「地域計画書」をどのように関連付けるのかお伺いいたします。